

中学校における学級会の推進 ～学級会の技法を授業の学び合いに活かし、学力向上を目指す～

◆ 所属・提案者（◎代表者）

所沢市立向陽中学校

◎白濱 史朗

ねらい

本校は創立以来、時を守り・場を清め・礼をつくす、道徳教育に重点をおいた取り組みを続けてきた。しかし、生徒をとりまく環境も変化し、学習への意識は高いが、自分に自信が持てず、授業に進んで取り組めない生徒、人との関わりに何となく苦手意識を持っている生徒もいる。

そのことを踏まえ本研究では、学力の向上には授業における学び合いや探究し合う活動を工夫することが有効な手段であること。またその土台として、学級活動の核となる話し合い活動（学級会）を、学び合いの技法を習得する柱として考える。

このように双極から身に付けた人間関係力が各教科の授業でも発揮され実践に結び付くことを期待し、本主題を設定し、次の研究仮説を立てた。

○授業規律の徹底と、話し合い活動を重視した授業を展開し、表現力を向上させる活動や人間関係づくりのトレーニングを意図的、継続的に行っていけば、自己発信力を身に付け、人との関わりを大切にし、人間関係を自らつくりあげていこうとする生徒を育成することができる。

○身に付けた人間関係力が、各教科の授業でも機能するなど、実践に結び付き、学力向上にもつながる。

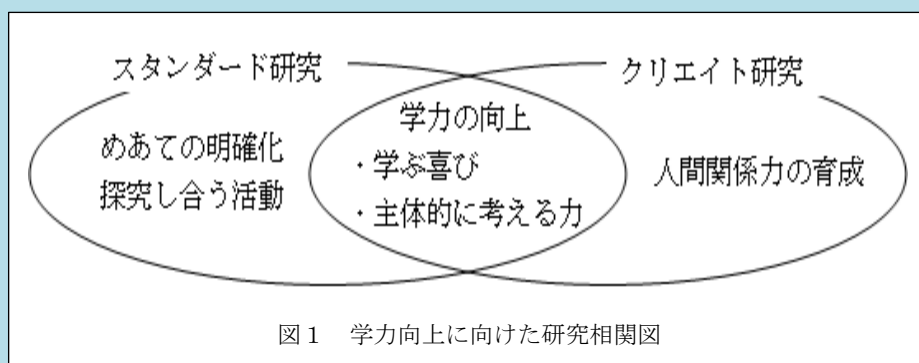
実践内容

① スタンダード研究（各教科）

めあてを明確にした、子どもたちの主体的な活動（話し合い活動）を各教科に位置付ける。

② クリエイト研究（学級会）

学級活動の核となる話し合い活動（学級会）の研究を推進し、その成果を各教科において学力向上に結び付ける。



実践時期・期間

- 4月～翌年3月の1年間
- 学級会は全学級にて実施（定期的に行った）
- 各教科における話し合い活動は随時実施

セールスポイント

- 全学級に同じ学級会グッズ、マニュアルをそろえたことで、いつでもどんなときでも話し合いができる環境ができた。
- 生徒が折り合いをつけながら話し合いに慣れることで、各教科におけるグループワークも活発になった。

失敗しないための方策

- 学級会グッズとマニュアルを学校でそろえることで、学級会の仕方を知らない先生も行うことができるようになる。

実践の成果や課題

【成果】

(1) スタンダード研究

① めあての明確化

1 時限のめあてを提示し、生徒が見通しをもてる授業展開にするにはどうしたらよいかを各教科部会にて検討を重ねることができた。



② 話し合い活動を活かした授業

生徒の主体的な活動（話し合い活動）を、各教科の特性に応じて位置付け、その手法の1つとして、ジグソー法等も積極的に取り入れることができた。



評価の観点	A	B	C	D	達成率
学力向上を目指した研修の組織・内容・計画は適切であったか	23	15	1	0	97.4
「言語活動を重視した授業」実践のために指導力向上に努めたか	22	17	0	0	100.0
研修の内容を活かすことができたか	21	17	0	0	100.0

表1 本研究に対する職員の意識（平成28年度学校評価より）
A：とてもよい B：よい C：あまりよくない D：よくない



(2) クリエイト研究

① 学級会の実施

すべての学級で、学級会を行った。

生徒が自分たちの生活をよりよくするため、課題を自分たちで解決するために話し合う意識が芽ばえてきた。

賛成・反対の色タイル

『決定・ありがとう』マーク

決まっていることの
確認ボード

議題・提案理由・話し
合いのめあて等の短冊

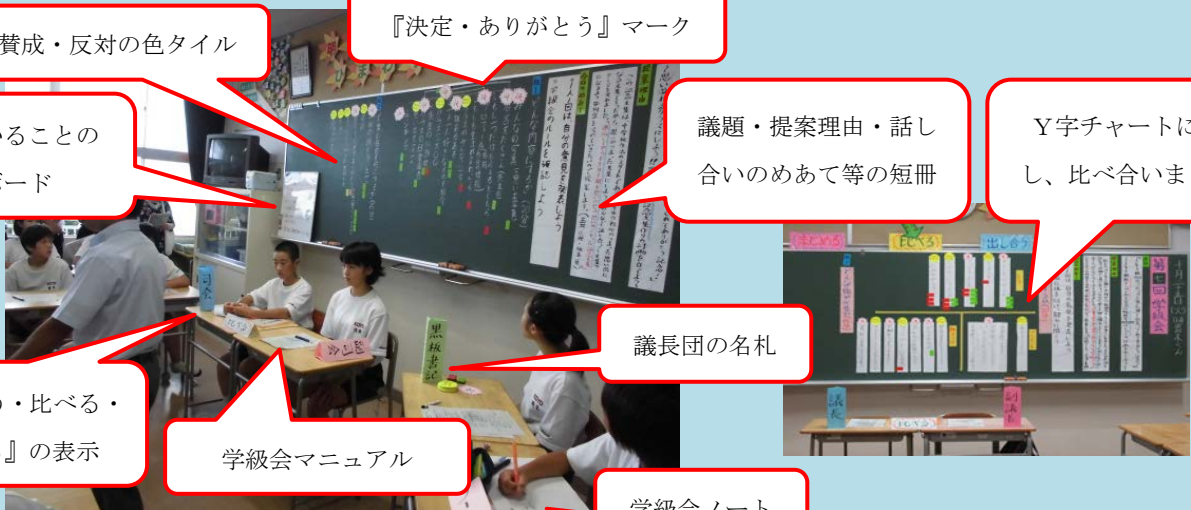
Y字チャートに分類
し、比べ合いました。

『出し合う・比べる・
まとめる』の表示

学級会マニュアル

議長団の名札

学級会ノート



② 学級会コーナーの設置

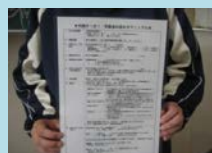
背面黒板を利用して「学級会コーナー」を設置した。

これまでの流れや今後の予定を示し、学級会に向けて意欲も高まった。



③ 学級会の質を高める工夫

全学級に学級会グッズやマニュアルをそろえ、年度が変わっても、いつでもどんなときでも話合いができる環境整備を進めた。



【課題】

- 本研究を通して、話合い活動や学び合いの土台づくりができた。今後これを継続し、学力向上へとつなげていく。
- 授業の終末を生徒の言葉でまとめ、学習を振り返る力を育成していくことにも力を入れていく。

他校で導入するポイント

- 中学校では学級会を通した話合いはほとんど行われていないのが現状なので、ぜひ参考にしてもらい学級会を広げてもらいたい。
- 組織が相互に機能するよう、定期的に部会ごとの進捗状況、これまでの成果を報告し合えるとよい。研修だよりを発行するのも効果的。

こうすればより高い効果が得られる方策など

- 学級会では「拡散と収束」をテーマに、たくさん意見を出させて分類していきまとめるということ意識するとより効果的。その際、XチャートやY字チャートを用いるとまとめやすい。

外部有識者からのコメント

- 学級会での話し合いの成果を、他教科の学習活動にも広めていこうとするところがよい。
- 学級会はもとより、総合的な学習の時間等での協働で学び合うよさを実感させるようにすることが重要になってくる。
- 民主的な議論で意思決定をする学級活動と、正確な知識理解を活用する教科学習での話し合いは、同一ではない。しかし、話し合いの場で生徒がどのような役割を果たすかが重要であり、その役割取得から双方の話し合い活動に共通した参加への意欲が育成されるのではないだろうか。